

キラリ 飛島キラリ通信

第3回

地域利用を考える

3回目となった今回のワークショップでは、前回同様4つのグループに分かれ、地域開放について話し合いました。

地域の人々が学校にかかわる重要性はみなさん理解しているようでしたが、その中で特別教室を開放することについては、安全面などから反対の意見が多かったようです。

今回の結論としては、これから設計を進めていく上で、特別教室の地域開放は重要視せず、学校として使いやすい配置を検討していくということとなりました。

今回のように、みなさんにたくさん意見を出していただいて、何を重視しているか把握し、条件設定をしてゆきます。
これからも、自分たちの思いを少しでも建物に反映できるよう、どんどん意見をだしましょう。よろしく願います。



第3回ワークショップ内容

2007年8月20日 19:00~21:20

参加人数：27人 場所：中央公民館2階学習室

19:00 教育委員長挨拶

19:05 事務局から連絡

現在、校名を募集中。まもなく締め切りです。お早めに応募ください。

19:10 前回のおさらい

前回を思い出す。欠席しても前回の様子がわかる。この2つの目的

のため、毎回、前回のおさらいを行なう。

ホームページなどでも広報できるよう「キラリと光る飛島キラリ通信」を作成。ネーミングはこれで決定。

19:15 教育研究会案・プロポーザル案のイイとこ探しのまとめ

右図「いいとこ探しのまとめ」参照

19:30 地域利用を考える

地域利用の例、地域利用を行うとどんなことにつながるかを説明

19:30~右図「地域利用を考えよう！」参照

周辺の公共施設がどのように利用されているかを調査 右図参照

意見：学童保育はどうするのか

施設として学校の中につくりたい(事務局)

村の行事をどうするか 夏祭、村民体育祭を考えている(事務局)

学校が犠牲になるのであれば地域開放はNO

グループワーク 19:45~

グループワークの結果発表 20:30~

わりとヤングチーム

・学校を理解する、子供が地域を知る。学校側が公共施設を利用してほしい・小学生と幼児が児童館で同じでは危ない

チームグラス

・必要最小限の地域利用の部屋は確保する・公共施設の利用が優先
・一般の方が学校に来ることは歓迎

チームアゲインスト

・現在の役場の施設で十分・防犯面が問題・いろいろな考え方の人と接することができる

スズキチーム

・開放することで学校が身近になる・総合学習でゲストティーチャーが必要
・防犯、物品管理が不安・PTAの部屋が必要

20:55 次回のテーマ「学校の安全、安心を考えよう！」(予習館)

いいとこ探しのまとめ



地域利用を考えよう！

地域利用を考えよう！ 学校での地域の役割とは？

学校に地域の人がかかわる効果

- 子どもたちにとって
 - 学習を深める
 - 講師として地域の歴史や伝統を教える
 - 様々な人との交流により、興味を喚起する
 - 大人の真面目な姿を見せ、やる気を喚起する
 - 成長を促す
 - 敬う心、いたわる心を育てる
 - 人とのコミュニケーションの仕方を教える
 - 安全に安心してのびのび活動できる。(防犯)
- 地域にとって
 - 生涯学習の場として利用できる
 - 地域の人間士の交流が生まれる
 - 子どもたちから元気をもたらす
 - 地域に愛着を持つ子が育つ

→ 地域が元気になる

その他

- 学童保育
- イベント利用
- 学校の公共施設利用

→ 地域の人がどうしたら学校に開かれるかを考えよう！

自分から学校をどう活用したいか、どうやっていかに活用するかを考慮してみよう。

周辺公共施設利用状況

周辺公共施設	利用状況
周辺公共施設	文化協会、体育協会等による定期的な利用(1~数回/月) 平日の夜間、もしくは休日の昼間の利用が多い。

次回のワークショップ

9月5日(水)19:00~21:00

